



委員部
議院運営課
奥山 恵美
(おくやま えみ)
平成22年入局

議院運営委員会は、その名のとおりに、本会議を始めとする議院全体の運営について各会派が協議、決定する場です。例えば、本会議の議事や各委員会の構成、特別委員会の設置、会期及び会期延長等の案件を扱い、議長の諮問機関として議院全体の運営に重要な役割を果たしています。こうした議院運営委員会の運営をサポートすることが、議院運営課の業務です。

その中で私は主に庶務的業務を担当しています。課の性質上、参議院事務局内の各部署からの問合せはもちろんのこと、議員や議員秘書、記者、外部からの多種多様な問合せに対応しなければなりません。議院運営課への問合せは広範多岐にわたるため、各部署の業務内容と役割を頭に入れ、適切な部署に情報提供を求めたり、日頃から法規や先例に関する知識を頭に入れておくことが必要です。それだけではなく、新聞やニュース等で最新の情報を入手しておくことはもちろん、刻一刻と変化する国会情勢を的確に把握し、衆・参両院の各委員会における法案審査状況等を見つつ、常に先のスケジュールを想定する必要があります。それでも、想定外の事案が発生します。得てして、そうした場合は時間のない中で臨機応変に対応しなければなりません。困難を乗り切ったときには大きな達成感とやりがいを感じることができます。

参議院事務局職員 Q&A

Q 参議院事務局を選んだ理由

国会は自分には関係がない世界だと思っていましたが、専門学校の先輩から話を聴く機会があり、参議院事務局の存在を知り興味を持ちました。唯一の立法機関である国会を支えるため、特定の分野に偏らない広範多岐にわたる分野の部署と数多くの業務があることにも魅力を感じました。

Q 仕事のマストアイテム

(上司からの受け売りですが、) 油性のボールペンです。全委員会の情報が口頭によりほぼリアルタイムで入ってくる議院運営課では、いかに素早く正確に相手の話すことをメモできるかが勝負です。シャープペンの芯が折れればタイムロスとなり、水性のボールペンでは文字がかすれ、インクペンでは走り書きの文字は潰れます。それらの欠点をカバーしてくれるこのボールペンは、細いペン先から出るインクがかすれずに紙の上を滑ります!



Q 余暇の過ごし方

某テーマパークが好きで、頻繁に海外にも行きます。参議院事務局は、部署毎の仕事のリズムをつかみやすいため、長期休暇が取りやすい職場だと思います。

Q 入局前後の職場の印象

入局前は静かで堅苦しいイメージが強かったです。実際は、当然ながら、国会という場であるからこその張り詰めた空気に触れることができますが、ふだんは和気あいあいとした職場です。職業柄なのか頭の回転が速く、話し上手な方が多い印象があります。

Q 今後の目標

視野を広く持ち全体的な流れを把握しながら、個別の業務が円滑に進められるよう、課員をサポートし、小さな業務でも着実に取り組み、日々精進したいと思います。

受験生へのメッセージ

今まで努力してきた自分に自信を持ってほしいです。就職活動では不安や緊張はつきものだと思いますが、ありのままの、変に取り繕わない自然体の自分を素直にアピールしてください。



庶務部文書課

先輩・後輩 座談会



中央: **細山 寛子**
(ほそやま ひろこ)
平成20年入局
左: **竹内 安依里**
(たけうち あいり)
平成28年入局
右: **広川 真帆**
(ひろかわ まほ)
平成29年入局

●● 業務内容

司会: はじめに、文書課総務係の業務内容について教えてください。

細山: 公文書の接受、発送、公印の管理、郵便受領及び発送業務や、開会式を始めとする各種行事等の運営をメインに行うほか、課内の庶務的な業務も行っていきます。

●● 仕事の魅力・やりがい

司会: 皆さんが考える文書課の魅力ややりがいは何ですか?

細山: まず、公文書の動きが分かることです。依頼文接受→回答案作成→決裁→浄書→公印押印→発送という一連の流れを勉強することができました。庶務部の筆頭課として国会の動きや参議院事務局全体の情報も入りやすいため、この点でもとても勉強になります。最初に文書課に配属となるのはとてもお徳だと思います!

竹内: 院内の文書のやりとりの窓口であるため、日々様々な部署の方が来訪することから、職員の名前と顔を覚えやすく、どの部署がどのような業務を行っているか自然と把握できるところが魅力です。

広川: 入局1年目から重要な業務を任せられることも魅力です。私は、入局直後の4月に行われた日本国憲法施行70周年記念式の植樹式で最高裁判所長官に手袋とスコップを手交する役割を担いました。三権の長を前に緊張しましたが、入局後間もない時期にこのような貴重な経験をさせていただいたことは、今でも仕事のモチベーションにつながっています。

●● お互いの印象

司会: 細山さんから見て、竹内さん、広川さんはどのような後輩ですか?

細山: 竹内さんは、1年目から難しい業務を任されており、手探り状態ながらも最後までしっかりとやり遂げる力があります。過去に手を付けられなかった大変手間の掛かる作業も、自ら積極的に行っていきます。広川さんは、新人ですが、周囲を見渡し積極的に仕事を探すタイプで、細かいことにもよく気付きます。締切りが先の仕事でも後回しにせず、余裕を持って行っています。二人とも、頑張り屋さんでとても頼もしい後輩です。

司会: それでは、竹内さん、広川さんから見て、細山さんはどのような先輩ですか?

竹内: 入局後ずっとお世話になっていて、とても頼りになる憧れの先輩です。業務で分からないことはもちろん、相手の立場に立って仕事を行うことの重要さや、国会職員として仕事をしていく中で必要となる国会の動きの読み方など、いろいろなことを教わりました。また、絶妙な気配りのできる方で、立ち居振る舞いや資料整理の仕方など、積極的に参考にしています。いつか細山さんのような先輩になりたいです。

広川: 細山さんは、私の中に漠然と思っていた仕事のできる女性像を、まさに具現化したような方です。細山さんと出会ったことで、文書課職員として今後どのようなスキルを身に付けていけばよいか明確になりました。例えば、常に話の流れの先を予測して咄嗟に的確な資料を上司に差し出すことができる細山さんの洞察力は、本当に憧れます。そんな細山さんに甘え過ぎないように、私ももっと頑張っていきたいと思っています。

●● 職場の雰囲気

司会: では、皆さんが働く職場の雰囲気を教えてください。

細山: 尊敬できる上司、同僚等に恵まれ、仕事しやすい雰囲気です。その一言に尽きると思います。

竹内: 人柄の良い方ばかりで働きやすい職場です。入局した頃の頃、よく上司や先輩方に国会に関するクイズを出していただき、議会制度への理解が深まりました。同時に、先例や規則を読み込む力が身に付き、業務にもいかされています。上司や先輩方に支えられながら、事務局職員として成長していることを日々実感しています。

広川: 執務室が国会議事堂内にあるため、開会中は慌ただしい雰囲気と臨場感を肌で感じながら業務に当たることができ、自らのモチベーションになります。一方で、上司や先輩は優しい方ばかりで、いつも親身になって後輩の相談に乗ってくれます。やりがいと居心地の良さのバランスがとてもよく取れている職場で、毎日仕事に行くのがとても楽しみです。

●● 受験生へのメッセージ

司会: 最後に、3人を代表して細山さん、受験生の皆さんにメッセージをお願いします。

細山: 目標に向かって全力で頑張ってください! 合格後は、就職してからでは、なかなかできないことを経験しておくことをお勧めします!

司会: 本日は、お忙しいところ、貴重なお話をありがとうございました。